こんにちは

アトリエレモンリーフ　影山さちこです
この度はわたしの本をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
市販にはない花インテリアの魅力をお楽しみいただけたら嬉しいです。
今回、お買い上げくださった皆様に特別プレゼンといたしまして、作り方付きPDFファイルをお届けすることにいたしました。

お手元の本はアマゾンで制作出版されておりまして、印刷はアマゾンのオンデマンドプリント方式（POD）のシステムにより、1冊づつ注文が入った時点で印刷製本しています。そのため、在庫をもたず、その保管の場所もいらない。それどころか、何冊でも増刷可能で、永遠に廃版も売切れもないという、いわばいいとこどりの本です。

すべての無駄を解消し　すばやくお客様にお届けするというシステムは、まさにアマゾンらしく、時代の先端をいくシステムといえるでしょう。もちろん一般書籍として国会図書館にも登録されています。現在、月に数百冊という数の本が出版されているそうですが、閉店してしまう書店もあり、もはや本そのもののありかたが、変化している時代なのかもしれません。

プリントオンデマンドは白黒の読み物の本はだい浸透していますが、カラー印刷についてはまだはじまったばかりです。今後さらに色の美しさも進歩していくでしょう。

このPDFの画像はPC画面やタブレットでご覧いただくと一層、キレイで、印刷だけでは見えなかったリアルな色や質感をお楽しみいただけるものです。拡大も自在です。作り方の必要箇所は印刷してお手元の本にはさんでおくこともできます。

掲載作品のうち 15 点を抜粋して作り方をご紹介掲載しています。　一部、花材が一致していないものもありますが、作り方のご参考にしていただければ幸いです。それではどうぞご覧くださいませ。

魅せる住空間になる

影山さちこの「花インテリア」

アトリエレモンリーフ主宰
影山さちこ

第1集

MEDIA-PORT

魅せる住空間になる
影山さちこの「花インテリア」
第一集

アトリエレモンリーフ主宰
影山さちこ

もくじ

はじめに　5

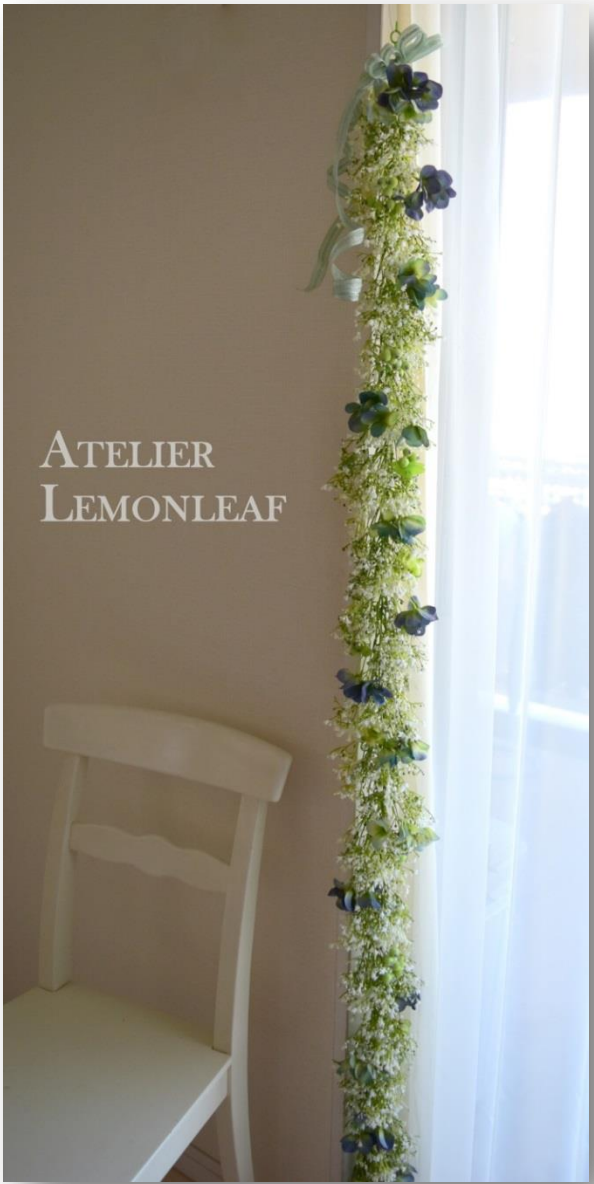
人気の花インテリア　7

プロフィール　・　ストーリー　69

おわりに　72

作り方のページをはさんでいますので、お手元の本のもくじとは違っています。

15 作品の作り方は画像ページの次に掲載しています。



はじめに
30秒で売約済になる人気の「花インテリア」のひみつ

この15年、毎年秋に展示販売会を開催しています。お陰様で毎年楽しみにして下さるお客様も増え、開場前から行列を頂き、オープンと同時にアトリエレモンリーフの花インテリアは、またたく間に売約を頂戴しています。本当にありがとうございます。とても嬉しく心より御礼申し上げます。こんなにもご愛顧いただける理由はなんだろうと考えてみました。

ひとつめの理由は市販では手にはいらないことです。しなやかにツルが絡んだ素敵なリース、すっとのびた白樺の枝先が美しいアレンジ、稲穂が揺れるザックリ束ねたスワッグ。どれも動きと味わいのある素敵な花インテリアの代表格です。しかし市販ではほとんど手に入りません。そのワケはなんだと思いますか？それは売り手側の都合にあります。専用の箱が存在しないからです。箱があり、破損クレームの心配がないものだけが流通する仕組みなのです。

自由に創造すれば、作り手によってカタチが違い、ズレが生じるのはあたりまえですね。同じ素材も唯一無二の風貌だからこそ価値を生み、深い味わいになるのですが…。言い方をかえれば市販のフラワーアレンジはどれも箱にあわせて、収まるサイズに作られているといえます。

よく母の日などに、街角でずらりと並ぶボックス入りのアレンジをみかけますが、共通の特長があります。それはいずれもキュッとしたもの、カチッとしたアレンジになっているのをお気づきでしょうか？実は足元隠しの花材も緻密なコストが計算され、少なくても済むようにデザインしているからなのです。ふんわりつくればそれだけ隙間をうめる花材が必要になります。結果、判で押したようなシルエットの花が流通します。

一般の人はすっかりそんな光景に慣れてしまっているので、花のインテリアとはこのようなものだと思い込んでいる方が圧倒的です。そのため教室で制作するチュラルでのびやかなインテリアをみると、とてもびっくりして注目されます。生徒さんも教室で作った作品をリビングに飾っていると、「どこで買ったの？」とよく聞かれるという話をしてくださいました。

人気の理由はもうひとつ、それは最近のアーティフィシャル素材のクオリティの高さです。アーティフィシャルフラワーとは人工の花の名称ですが、昨今　飛躍的な進歩ととげています。その品質はリアルで、自然を超えた自然の風貌といってもいいほどです。人工とはいえ、今しがた摘んできたような瑞々しいバラ、揺らぎのあるグラディエーションが美しくほどこされた紫陽花などは、見る人をうっとりさせます。

本物の天然ドライ素材やプリザーブドフラワーとミックスすることで相乗効果は抜群！種類も豊富でデザインの多様性がうまれ「極上」という名にふさわしい、クオリティの高いインテリアが制作可能になりました。お客様の「世界にたったひとつのリクエスト」のオーダーも叶えることができるだけでなく、豊富で、自在になるアイテムに、私たち制作者も夢中になってしまいます。花のインテリアの創造の世界は、ますます面白くなっていくでしょう。

しかし、それでも、この素敵な世界を知っているのはまだまだ、ほんの一握りの人たちです。いまだに、花を持ち運んでいると「これは本物ですか？」と聞かれます。アーティフィシャルフラワー、ドライ、プリザーブドの花素材を扱う店舗は限られていて、「アーティフィシャル」という言葉の認知度も高くはありません。このような背景もあって、**伸びやかな魅せるフラワーインテリアはその素材の存在に気づき、手づくりやオーダーの術を知る人だけのものとなっています。どんな一流百貨店も販売さえ叶わない、花インテリアの世界は限られた人の最高のアドバンテージといえるでしょう。**

世間では経済格差、ネット格差、いろいろな隔たりが聞こえてきます。おそらく花の世界も知っている人だけは精通しており、そうでない人は一生知らないで終わってしまうのかもしれないと危惧しています。人生は一度きり。楽しいもの、素敵なものには欲張りになりましょう！こんなにも手軽でおしゃれなインテリアの世界をたくさんの方にお届けしたく、本にいたしました。

本書はアトリエレモンリーフの人気のインテリアを集めました。作品たちがみなさんの目を休め、癒しとなり、プレゼントやプライベートをより楽しくする一助になれば、こんな嬉しいことはありません。ご希望のイメージにあうものがありましたら、どうぞご相談ください。そしてご自身でつくりたくなったら、いつでもレッスンにいらしてくださいね！

花たちが運んでくれる、あらたなご縁を心から楽しみにしております。

アトリエレモンリーフ　影山さちこ

本書の構成　デザインスタイル別でわけずに、ご覧になる方が心地よく感じる色やテイストの順番に並べました。花インテリアについて、ご注文、お問い合わせの際は掲載のページをおしらせいただけるとスムーズです。途中のカフェコラムもお楽しみに♪

掲載インテリアのデザインポイントや作り方のコツがわかる
公式ウェブサイトはこちらです。　http://www.lemonleaf.jp
各種ご相談は、サイトの右上の「お問い合わせ」バナーから

Atelier Lemonleaf

ATELIER
LEMONLEAF

バラとホップのボールブーケ

花材
ローズ大輪（A）、ローズ小（A）、ホップハンドル（A）、
ダリア（ベージュ）（A）、ミニダリア（白）（A）、ハーベストの実（A）、
マムピック（A）、素ボール、リボン、キリまたは目打ち

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――
ボールブーケは球体のシルエットをつくる軸となる花をきめておきます。軸となる花はガーベラのようなフラットな花よりも、花弁が上向きのものを選ぶと綺麗にできます。

おなじ種類の花を隣にいれるときは縦や横に並ばないように斜めに。

花が寄りすぎて、花びらが折れないようにしましょう。ふんわり感を大切に。挿すときの高さは軸の花と同じか、やや低いくらいに合せます。

(1)　花は2～3センチのステムにカットしておきます。
(2)　素ボールを固定して18番ワイヤーをまっすぐ貫通させます。下は1センチほど折り返して、挿しこみグルーで固定、上は 3～4 センチにしてまるめてフックをつくります。フックのある場所は上下の目印としてひもなどをつけておきましょう。
(3)　目打ちかキリで穴をあけ、軸となる花（ミニダリア）を球体の上下左右にさし、あいているところにも均等にさしていきます。（ボンド使用）
(4)　全体の雰囲気イメージがつかめてきたら、ダリアやローズなどメインの花を見せたい場所に。軸の花よりやや低いくらいに高さを加減ながら挿します。軸の花より出ると球体シルエットが崩れるので注意しましょう。
(5)　残りのマム、つぼみ、ホップを空いているところに挿します。どの花もしっかり開花状態をキープ、花びら同士が、かぶらない位置に、押し合わないように入れましょう。全体を整え、リボンを通して完成です。

Atelier Lemonleaf

Atelier Lemonleaf

Atelier Lemonleaf

プリザーブドユーカリのリースアレンジ

花材
丸葉ユーカリ(P)、ラベンダー(P)、かすみ草(P)、ブルーマリー枝と実(D)
リースベース　リボン　(花材は本と完全一致はしていません　ご参考までに)

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――
リースアレンジにはリースベースを見せる作り方と、全体を埋め尽くすタイプがあります。

平面にならないよう、なるべく葉を斜めに立たせて留めましょう

全体のシルエットは、とがる部分をいれ、ひし形をめざすと、メリハリがでます

リースの内円に添って葉をいれ、中央の空間にもかかるように葉をいれると、表情がつきナチュラルに仕上がります。

脇から見て、両サイドもチェック！葉を留め、仕上がりの完成度を高めましょう。

作り方
(1)　ユーカリをパーツごとに切り分けます。大きな葉や、カタチのいい先端部分の枝葉は別にとっておき仕上げに使いましょう。
(2)　トップになる左右上下、葉4点をリースに留めます。
(3)　ベースの表面を一周、葉を斜めにたたせるようにしてつけ、脇の外周も同じ要領でとめつけ、内円は葉を重ねるようにとめていきます。(グルー使用)
(4)　全体に葉がついたら、実やアクセントの花材をいれ。枝などで表情をつけます。
(5)　葉を追加したり、間引くなどして、全体のシルエットを整えます。
(6)　フックとリボンとつけて完成です。

Atelier Lemonleaf

Atelier Lemonleaf

Atelier Lemonleaf

クリスマス　スワッグ・THE　RED

花材
ダリア 2 種(A)、ローズ 2 種(A)、アンスリウム 2 種(A)
アジサイ(A)、サンキライ(A)、松かさ(D)、リボン

A－アーティフィシャル　P－プリザーブド　D－ドライ

――ポイント――
アンスリウムは先端がとがっているので、矢印のようにラインを描くことができます。
通念を通していろいろな花が手に入るのもアーティフィシャルのメリットです。
ひとつの素材としてシルエットを楽しみましょう。

真上にむいているバラやダリアのヘッドを45度くらいに起こしてアレンジしましょう。
ぐんと見映えします。

テープで巻きとめる範囲は、あとでリボンで隠しますので、あまり広範囲にならずに、同じ場所で止めましょう。細かいところはフローラルテープで、しっかり巻きとめたい時はビニールテープがおすすめです。使いわけをマスターしましょう。

作り方
(7)　アンスリウムを小 1 本、大 2 本をフローラルテープで仮止めしながらラインを作ります。大 2 本もおなじように作り、二つを合体させます。小1本は仕上げの時に入れます。
(8)　葉をぬき、とげを処理し、ヘッドをおこしたバラ、またはダリアをアンスリウムのベースに置き、1本づつビニールテープで巻きとめます。くるくるまわってしまうときはテーブルにおいて作業しましょう。
(9)　全部の花を巻きとめドロップ型のシルエットになったら、アンスリウムの仮止めを解き、残りのアンスリウム小 1 本を巻きとめます。
(10)　葉を入れます。抜いた葉にワイヤーを後挿しして、茎をつけ、背景になるように、いれては、巻きとめます。花の中にいれたいときは、そのまま花の額あたりにグルーでとめます。
(11)　裏面は残った葉で隠し、テープが見えている茎の部分もリボンで巻きとめて隠しましょう。仕上げにアジサイをいれ、リボンを作り、茎のラインを整え、サンキライを絡めて完成です。

Atelier Lemonleaf

カフェコラム　「花材店はワンダーランド」

この本に掲載されているインテリアを作りたいなぁ～とおもったら花材はどこで入手するか？そのときはホビー全体を扱うお店よりも、花材を専門にしている店にいくことをおすすめします。種類が豊富でデザインするのが何倍も楽しくなります。

私は年に数回、生徒さんもお連れしています。いつものレッスンとは一味違うお出掛けに、皆さんはわくわくモード！そして訪れた店内に一歩入ると、おしゃべりがピタリと止まります。目の前に広がる花いっぱいの世界はまるで天国？！誰もが心奪われ、うっとりとしています。普段の暮らしで、これだけ多くの花を一度に見る機会はなかなかありません。

そしてさぁ、花選び！そのとき、生徒さんはほぼ、二つのグループにわかれます。ひとつは集合時間も忘れて、花選びに夢中の生徒さん。もうひとつはあまりの多さに圧倒されて、結局何も選べず、もどってくる生徒さん。どちらも豊富な花材の世界ゆえにおこる贅沢なハプニングです。

これから選びに行かれる方にアドバイスをさせていただくと、専門店は本当に花やアイテムがたくさんあるので、訪れる前にほしい花の色、置きたい場所、添えたい花器、ギフトならさしあげたい人の好きな色など、自分のなかである程度選ぶ花のイメージを決めておくとスムーズです。

仕事柄、私は花嫁さんもご案内するのですが、「わぁーあれも、これも素敵～！」と歩いていると2時間くらいあっという間。結局、歩き疲れてどうしましょう‥ということになりかねません。花嫁さんにも店内を巡るまえに、ドレスや披露宴会場の雰囲気にあった色、イメージを想定していただく時間をとっています。

自分のペースでお花いっぱいの花材店の中を上手に利用できるようになると「今度はこれにあわせてみよう！」「次回はこのコーナーに寄ってみよう！」とますます訪れるのが楽しくなること請け合いです。私もこの15年、花材店に通い続け、一度たりとも、もう飽きた～　と思ったことがないから不思議です。それだけ花の魅力はつきません。そんな私をいつも楽しませてくれる大手の花材専門店をふたつご紹介します。

(株)東京堂
〒160-0004　東京都新宿区四谷 2-13
カスタマーセンターTEL 03-3359-8686
HP　http://www.e-tokyodo.com/

横浜ディスプレイミュージアム
〒221-0055 神奈川県横浜市
神奈川区大野町 1-8
代表 TEL:045-441-3933
HP　http://www.displaymuseum.co.jp/

一般の方のご購入もできます。
会員制については各店舗に
お問い合わせください

ナチュラルテイスト・さくらリース

花材
桜大（A）、桜小（A）、カンガルーポー（A）、スカピオサ（白い花）（A）、
アジサイ（A）、ベンケイ草（A）、白樺スライスリース、リボン

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――
桜の枝ぶりを生かして、後づけとして枝をとっておいてシルエットのバランサーとしてつかいましょう

カスピオサは長くつかうことで動きを出しましょう。

スライスリースは天然木の味わいが魅力。見せたい素地を生かしてアレンジしましょう。

今回のアレンジはリースの表面だけでなく、裏と表からサンドイッチするようにアレンジすることでボリューム感と立体感を出しています。

作り方
（1）　大きい方の桜を枝ぶりをみながら、リースベースの裏面にワイヤーでとめつけます。飛び出した部分の茎をカットして後挿し用にとっておきます。
（2）　小さい方の桜を表面にのせるようにとめつけます。（グルーまたはワイヤーで）
（3）　好みの位置にカスピオサをのびやかな表情にとめて、足元を小分けにしたアジサイで隠しましょう。
（4）　アジサイでポイントを1～2か所つくりましょう。
　　正面以外に、リースベースの脇や内側にも添えます
（5）　カンガルーポーと、ベンケイ草をアクセントに添えます。
（6）　和テイストリボンをとめて完成です。

Atelier
Lemonleaf

Atelier Lemonleaf

ラスティックワイヤーで作る紅葉アレンジ

花材
紅葉2種（A）、グリーントリュフ（A）、アガバンサス（A）
セビアシキミア（A）、ソーラーローズ（D）アジサイ（A）
ラスティックワイヤー6.5m、器

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――

ラスティックワイヤーを利用して、現代アートなスタイルに挑戦してみましょう。まとめで全体をみせるアレンジよりも、アレンジの中で、一つ一つの花を見せるスタイルが最新のトレンドです。

ラスティックワイヤーの特性が分かるといろいろな場面で応用できます。からめていくと、自然な風合いの「リースベースにもなります。

作り方
(1)　器にフォームをセットします。
(2)　ラスティックワイヤーを2メートル X3 本と、50センチを用意します。2 本は半分におり、1本は3等分におります。
(3)　50センチで土台の円をつくります。器がその円に入るかチェックしておきます。
(4)　ドーム状になるように半分折の2本を土台にからめます。
(5)　↑それらと直角になるように3等分折の1本を土台にからめます。
(6)　三つ折りの山の部分を左右に開き、二つ折のドームとクロスするところは、24番ワイヤーをからめて、カタチをキープします。
(7)　ラスティックワイヤードームが完成したら、器にかぶせて、紅葉のバランスをみてのアレンジします。
(8)　他の花材は適当な長さにカットし、ドームの中に挿していきます。あるいはグルーで器のヘリにとめていきます。

プルメリアの初夏のブーケ　ラウンドタイプ

花材
プルメリア（A）、プリザーブドローズ（ペールグリーン）（P）
クレマチス（A）、アジサイ（A）、ナチュラルベリー（A）
リボン。ブーケホルダー、ブーケ型紙

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――
マイク型のフォームの入ったホルダーブーケはワイヤリングが不用。とても手軽に楽しめます。型紙をつかうとより、形を作りやすくなります。

球体の上半分を描くように、丸くつくりましょう。

お花は上下で重なるのは OK ですが、隣同士で、押し合っている時は調整しましょう。ブーケもふんわりと風がぬけるくらいの隙間も大切です。

アクセントや主役にしたい花は　中央の真ん中より、よりややずらしたほうがおしゃれな雰囲気になります。ど真ん中正面にメインをおくと野暮ったくなるので注意しましょう。

作り方
(1)　花材を小分けにしましょう。そのままではさせないものは茎をつけテーピングしておきます。プリザーブドは開花させます。
(2)　ホルダーに型紙をセットします。円周10センチのラインにそって上下左右にアジサイ花材をいれ、トップにプルメリアをホルダーの水平線から10センチの高さになるように挿します。
(3)　上記の花を軸に、型紙の線にそって、アジサイやプルメリアを6割程度、フォームに均等にさします。トップの花から半球体を描くように。
(4)　ここまでお花が入るとブーケがイメージしやすくなります。アクセントや主役にした花（バラ、クレマチス）をお好みの場所に入れます
(5)　隙間を残るプルメリアや、アジサイでうめ、仕上げに小分けにしたベリーのツルを入れます。くれぐれもふんわりと♪
(6)　ホルダーの持ち手に両面テープをつけリボンを巻き上げます。
(7)　手元のリボンをつけて完成です

Atelier Lemonleaf

和テイストインテリア　「雛の月」アレンジ

花材
ダリア(A)、クロップフラワー(A)、エリンジウム(A)
矢車草(A)、デルフィニウム(A)、ラナンキュラス(A)、ミニダリア(A)、
ガーベラ(A)、マムピック(A)、アイアン月形の器　房

A－アーティフィシャル　P－プリザーブド　D－ドライ

――ポイント――
菊やダリアなどとがった花びらのものを入れると和風になります。

シースルーな器にアレンジする時には、花の足元を覆い隠さずに、フォームはつかわない透け感を魅せるアレンジにトライしてみましょう。

そのためにはガーランドの手法をつかいます。先端からバックしながら、花材は置いては巻くことを繰り返して作ります。

作り方
(1)　白い花を除いて、他花材をすべて持ち手 3～4 センチにカット(薄紫のミニダリアだけ茎は 5 センチ程度に。ラナンキュラスは 1 輪から、花びらをパーツ化して 5 本の花を作ります。すべてにワイヤリングとテーピングをします
(2)　上記の作業をした全部の花を三つのパーツにわけます。トップ両サイド 2 束(つぼみ含み各 11 本程度)と中心 1 束(ダリア 1、ガーベラ 1 含み　8 本程度　)にします。エリンジウム別にしておく
(3)　トップ両サイドにわけた花はそれぞれガーランドに組みます。中心の花はブーケに組みます。組みあがったら、3 つとも持ち手は 12～3 センチの長さに茎束をカット。テープは下まで巻きましょう。
(4)　トップ両サイドをクロスに合体させて　器に添わせます。みえないところでテープやワイヤーを使用して固定します。ブーケは向きをよく見て中央にのせ、花と器の接点にグルーを入れて留めます。
(5)　クロップフラワーを上からのせてグルーでとめ、房をつけて完成です

ハロウィーンのバックブーケ

花材
マーブルローズ（A）、アジサイ2種（A）、コスモス（A）、ラナンキュラスピック（A）
ブルームフラワーピック（A）、バブルベリー（A）、カラフルマムハンドル（A）
バックベース

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――
さまざまな花材を配色するのが楽しいバックブーケです。
同じ花材をグルーピングさせることで、見どころになります

バックベースが台形なのでシルエットラインが丸くなるよう黒のアジサイをさしてみましょう。側面は一番高いふくらみを決めてドーム型につくります。
バックを正面向きに置いてチェックしましょう

作り方
（1）　フォームをセット、抜け止めをし、背面をリボンで隠します。
（2）　黒のアジサイは二輪づつカットして11個ワイヤリングします。両サイドに 4 づつ、残った黒ののアジサイは一輪づつシルエットの高さを調整しながらさしていきます。
（3）　メインのマーブルローズは茎 3 センチほどにカットして　ふくらみのトップにする場合は1センチくらいやや浮かしてて正面に、（浮かし加減は場所によります）
（4）　ブルームフラワーピックは軸を 3 センチにカット、メインのそばに斜め挿しします、入れてみて長い花は、カットして調整しましょう。
（5）　オレンジの小バラ　黄色のマムは　グリーンのコスモスは各種使いやすいように小分けにしたり、ワイヤリング、テーピングなどで下準備します。
（6）　赤＆オレンジモスは小分けにして、茎がしっかりしているので　そのまま挿すしてOK.高さがほしい時はワイヤリングを
（7）　ベリーは仕上げに短くカットしてグルーでつけ　お好みでリボンとタグを飾ります。
（8）　全体のシルエットを整えて完成です。残った実の枝は単独でクロスさせ、残りのつぼみや花をつけて、バックに寄せてディスプレイしてもステキです

Atelier Lemonleaf

PARIS

カフェコラム　「ネコのはなし」

我が家にはネコが一匹います。動物が苦手な生徒さんもいらっしゃるので、レッスン中は別の部屋に入れていますが、私ひとりでアレンジを制作しているときは相棒のように、そばに来ます。名前は「みりん」。この名前を聞いて「『美鈴』と書くの？」と素敵な漢字をあてて下さる方がいますが、由来はズバリ、　調味料の味噌、醤油、みりんからつけました。なぜそのような名を？とよく聞かれます。

調味料のみりんは、少量でも、ぐんとお料理の味をまろやかにしてくれますね。ネコも体は小さいですが家族の空気をまろやかにしてくれたら、うれしいなぁ～という願いをこめて、みりんにしました。

動物には家族のだれもが癒されるのはもちろんですが、飼ってみてさらに気づいたことがあります。それは、誰かが、可愛がっている様子をみることで、こちらも和むという発見でした。

みりんに「どうしたの？」と話しかけていたり、寝ていればそっと撫でてみたり、人が小さな命を可愛がり、大切にしている様子はそばで見ている方も温かい気持ちになります。

今はもう、すっかり成人になった子供たち、家族それぞれが忙しくしている毎日です。家の中で、家族が共有できることはそんなに多くはありません、

でもみりんがいるおかげで、「ごはんあげて～」とか、「テーブルに、のっちゃだめ！～」など、みりんにみんなの視線があつまり、他愛ない共通の話題もふえました。「みりん」というその名のとおり、小さな体で、家族の関係をまろやかにつないでくれる、かくし味になっているのではと思います。

ハートのプランターバスケット春のミモザアレンジ

花材
:ミモザ（A）、小麦ピック（A）、ホップピンク（A）、ミントつる（A）、
パインフラワー（D）、フラディーミント（A）、ラタンボール、リボン。

――ポイント――
若葉のグリーンと黄色の春らしいコントラストが楽しめるアレンジです。

バスケットアレンジ特有の、フォームの固定法を覚えましょう。

大きくフォームを使いすぎると、デザインが隠すことに優先になってしまったり、花の根元への奥行がなくなってしまうので注意しましょう。フォームは必要最小限を心がけましょう。

花材が接着しにくいときは、1センチ角のミニフォーム添えてみましょう。花材がふえてくると自然と足場ができて、フォームは不用になります。ラタンボールを仕込むとナチュラルな足場になってくれます。

アレンジのシルエットは、くぼみがわかるようにしておくとハートらしさが出ます。

作り方
(1)　パインフラワーとラタンボールをつけたい位置にフォームをセットします。
(2)　バスケットの裏面の透かし穴をふさぐためハートの中央やや下の部分にガムテープをはります。そこにアレンジが集中します。
(3)　ミモザは 3 つにわけ、他の花材の茎も適宜カット。3 つにカットしたミモザを斜めに留めつけます。
(4)　ハートのくぼみ位置に小分けにしたフライディーミントをそえます
(5)　好みの場所にホップや小麦をとめ。その上下左右にフライディーミントをそえます。（立たせづらい時はミニフォームを利用しましょう）
(6)　ラタンボール、パインフラワーをフォームの上にグルーでとめます。
(7)　全体に小分けしたフライディーミントをそえ、ミントつるをアクセントに入れます。残ったミモザの葉はワイヤリングしてミモザの下に入れます。
(8)　リボンをとめて完成です。

Atelier
Lemonleaf

モスフレームのグリーンアレンジ

花材:
モフレーム　大　小　葉物(数種類)(A)

A－アーティフィシャル　P－プリザーブド　D－ドライ

――ポイント――
モスフレームはひし形に下げたり、大小くみあわせたり、いろいろなスタイルが簡単に作れます。さわやかなグリーンテイストを好みの形で楽しみましょう。

フレームの角を3箇所しっかり見せることですっきりした仕上がりになります。

花材は寝かしすぎるとフラットな仕上がりになるので、ややすこし起こしてふんわりつけましょう。フレームの外側、内側にも花材をいれることで立体感がうまれます。

作り方
(1)　大小のフレームに対して、お好みで使う葉をわけます。メインにする花材と足元に添える葉、流れとしてそえるもの、間をうめていくものなどで、組み合わせをきめます。
(2)　選んだ花材をさらに小分けにしましょう。
(3)　まずは大きなフレームから。基点になる角とどこまでを葉で覆うかを決め、バシルの枝をフレームにさします。ぐらぐらするときはグルーUピンで押さえましょう
(4)　基点にメインの花材をいれ、その足元に添える葉さし、流れをだす花材で、あいているスペースにいれていきます。
(5)　フレームの内側、外側もチェックし、仕上げにで、さらに立体感のでる葉を追加します。
(6)　小フレームもあれば同じ要領でつくります。
(7)　仕上げにモスの足りないところに適宜　モスをはりつけて完成です。
(8)　フックを好みの位置につけましょう。

MOMS FAMOUS
HOCOLATE
P COOKIES

CHOCOL
CHIP COOKIES
wet ingredients dry
add
vanilla
add-CH
bake at 375°

ドライポアプランツのパニエアレンジ

花材
ポアプランツ（D）、フランネルフラワー（イエロー。グレー）（A）
プリムブロッサム（白）（A）、サゴナチュラル（A）、シーナマイロール
ラフィア（モスグリーン）ラウンドフラット

A－アーティフィシャル　P－プリザーブド　D－ドライ

――ポイント――
パニエは束の中央をねじって立たせる特徴あるアレンジで、
ドレスの下に着るパニエに似ていることから由来しています。

茎がしっかりしているもの、まっすぐなものを集めてつくります。
茎を数本まとめて小さい束をつくり、スパイラルにねじってみましょう。

作り方
（1）　フランネルフラワーは脇からでている花をカットしを花一輪だけの状態にする。
（2）　ポアプランツは一束を4つにわけて、長さをフランネルフラワーにあわせて
　　カットします。合計8束　茎の短いものは別にしてとっておく。
（3）　フランネルフラワーとポアプランツの小束をまっすぐに持ち
（4）　らせん状にねじったところに輪ゴムをかけ、さらにねじります。
（5）　束ごと立たせてみます。そのままウエストはワイヤーで固定します。
　　しっかり立つように、足の長さを調整し、内面にグルーを注入してさらに固定し
　　ましょう。背景をセットして完成です

Atelier Lemonleaf

ATELIER
LEMONLEAF

アイアン素材とエレガントコラボアレンジ

花材
アミュゼローズ大、小（A）　フレンチフリルローズ（白）（A）
あじさい（A）ビバーナムティナス（グリーン、グレイ）（A）
アイアンベース 2 種。

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――
アイアンベースへの固定方法をマスターしましょう。
ミニブーケやコサージュにも応用ができます。

ベースは組み合わせによってカタチは自在。はなして二つ、つなげて横に。長く縦に。飾りたい場所をイメージして作ってみましょう。

奥にあって見えない花材があるときは、思い切ってカット、
挿し直しして表情をつけましょう

作り方
（1）　アイアンベースを好みの大きさに組み合わせて　ワイヤーでとめ、テーピングします。
（2）　フレンチフリルローズ、ビバーナムティナス、アジサイにステムをつけます。1/4 の花材は仕上げの後挿し用にとっておいておきましょう。
（3）　ステムをつけたら、一ヶ所を簡易的にテープ留め、上下しながら花の表情をつけます。花束ができたら、やや長めに仮の丈に揃えて切ります。テープを茎、全体にまきます。
（4）　花束全体のヘッドをぐっと曲げ角度をつけて、アイアンベースの好みの位置に挿しこみます。茎の不要な長さはカットし、アイアンベースにワイヤーでとめつけ、テープでカバーします。
（5）　後挿しの花材をグルーまたは、ステムをつけてとめます。
（6）　リボンをつけて完成です。

Atelier Lemonleaf

Un Petit Cadeau Pour Vous

Atelier Lemonleaf

Atelier Lemonleaf

多肉植物のキャンドルアレンジ・ウインタースワッグ

花材
ダスティミラー（A）、ハルオチア（A）、エケベリア（A）、ベリー（A）
シダ（A）、ひむろスギ（P）、ミンティリーフ（A）、エアプランツ（A）
キャンドル、小枝ベース D　わた

A－アーティフィシャル　P－プリザーブド　D－ドライ

――ポイント――
レッスンでキャンドルの固定方法を覚えましょう。

枝ベースを使用することで、飾りかたに多様性がでます。キャンドルを外して壁かけスタイルも楽しんでみましょう！

キャンドル位置を計算して、ふんわりドーム型をめざして

作り方
(1)　シダをカットしてトップの葉が出る位置で、小枝ベースの両サイドにつけます。（グルー使用）メインのエケベリアは持ち手を3センチほどにして、やや左か右に寄せてつけます。（中央にキャンドルがくるため）。
(2)　ダスティミラーの葉をすべて24番でワイヤリングし、全体的に小枝ベースにとめ、雰囲気をつくります。
(3)　ハルオチアは3センチほどにカット、エアプランツも茎を3センチほどにし、雰囲気ができたベースに挿しとめます、ミンティリーフはカットして、ワイヤリングか直付けで適宜に留めます。小分けにしたヒムロ杉をいれます。
(4)　キャンドルは一本をやや短くカット。24番でUピンをつくり、キャンドルの足元にテープでまいてつけます。グルーをしっかりつけてベースにさし、固定します。グラグラするときは 18 の U ピンでおさたり、フォームをつめて安定させます。
(5)　仕上げにお手製のキャンドルリング、雪にみたてた綿をそえて完成です

クリスマスス　白樺スワッグアレンジ

花材
白樺の枝(A)、ブルニアピック(A)、ベリー(A)、
ヒムロ杉(P)、ローズ(A)、松かさ(D)、あじさい(P)、リボン

Aーアーティフィシャル　Pープリザーブド　Dードライ

――ポイント――
ドアや壁掛けにも、クリスマスのテーブルにおいても素敵なスワッグ。フレキシブルに楽しめるスワッグの魅力を体験しましょう。

スワッグはカタチがそれぞれ異なるため、まず市販にはありません、大振りの作品の存在感は手作りならではです。

縦置き、横置きか、飾り方によって、相応しいメインの位置を考えて作りましょう。パーツでつくるリボンワークを学びましょう
・

作り方
(1)　白樺の 3 本の枝の両端を好みの長さにずらして、メインを置きたい位置にワイヤーかけて固定します。枝の間にグルーを注入して固定します。
(2)　茎を短くカットしたバラを大小をメイン位置あたりに、花全体をグルーでとめます。(1)のワイヤーにひっかけるとより安定します。つぼみは仕上げにいれても OK
(3)　ブルニアは葉が付いたものと、葉と実をわけたものと、大小つかえるよう小分けにします。ブルニアでバラの足元をかくし、ヒムロ杉、アジサイを小分けにして、背景にボリュームを出します。松かさを添えます。
(4)　流れがでるようにバラの葉を配置します。残りのブルニアやヒムロ杉をくわえ、シルエットをみながら、表面だけでなく、脇も入れていきます。
(5)　メインの位置にあわせてリボンの位置を決め、垂れとリボンの中央はそれぞれ分けて作り、パーツに。流れがでるように挿しとめます。
(6)　ベリーをからめて完成です。

シフォンローズのクリスマスアレンジ

花材
ミツマタシルバー（D）、ローズ（白ラメ）（A）, シフォンローズ（グレイ）（A）
シフォンマスカレード 2 輪（A）、ジュニパーピック（A）、ヒイラギ（D）
ヒムロ杉（P）、器、リボン、フォーム

――ポイント――
ミツマタの枝のラインが魅力のアレンジです。大ぶりの花材を固定する方法をマスターしましょう

アレンジのフォルムはドーム型で、上から見てひし形か三角形になるよう葉でとがる部分をつくりましょう。そうすると、楕円でぼんやりしたシルエットにならず、全体がひきしまった印象に仕上がります。

作り方
(1)　ボンドを用意して器にフォームセット。15 センチ前後のV字の小枝を切り出し、さします。そこ受けにして、長い枝をななめに挿します。
(2)　小分けにした白のローズと葉にステムをつけます。スプレー咲のジェニパーピックはそれぞれ引き抜いて穴にワイヤーさしステムをつけます。
(3)　メインのシフォンのローズ、マスカレード 2 本を適当な長さに切り、器に好みの位置にボンドでとめます
(4)　小分けにしてワイヤリングしたヒムロ杉、ジェニパーピック、バラの葉もそえましょう。ヒイラギをアクセントに。
(5)　葉がかさなっているときは重くみえるので間引きましょう。足元はのこりの杉で隠します。必要であれば残りのミツマタの枝を手前にもさらに追加。よりダイナミックにボリューミーにもアレンジできます。
(6)　仕上げにリボンとオーナメントを添えて完成です

Atelier Lemonleaf

「プロフィール　・　ストーリー」

花との出会い

20代の会社員だったころ、社内の華道サークルに先生が教えにきてくださっていました。都古流という華道の先生です。友達と一緒に、たしなみのひとつになればと、アフター5 に習っていた当時。それが、正真正銘の花との初めての出会いです。

持ち帰ってすぐ、家の床の間に、再び生けると、花好きな母がとても喜んでくれたことがすごく記憶に残っています。私自身も嬉しくて、花の魅力や効果をはじめて目の当りに体験した出来事でした。

あれから数十年以上年月がすぎても、当時習った「真、添え、留め」という空間を捉える感覚は、いまでも私の中で、とても役立っており、アレンジの素地となっています。自然の趣を相手に、何千年も受け継がれてきた日本の華道は時代をこえてもブレない伝統の素晴らしさを感じます。

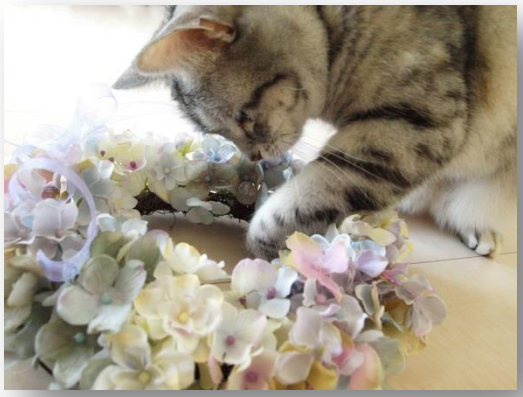
その後、私は結婚退職し、子育てに忙しい日々を送りながら、花から離れます。そんな中、さりげない出会いが、実は人生を変えたキーパーソンだった！ということがあるように、子育てママ友のひとりである彼女に出会ったことが、クラフトとしての花の世界を知る転機となりました。

当時、住んでいた自然豊かな市原市。つるや、落ちている松ぼっくりなど天然素材や、ドライフラワーで素敵なリースを教えてくれた彼女。どんぐりの実をグルーやボンドを使いながらとめ、ナチュラル感たっぷりのリースが完成！リボンをつけるとさらに素敵に。「わたしでも作れた～！」という感激が、ママとしてではなく自分自身の喜びだったことがとても新鮮でした。

その友達からドライフラワーの草分け的存在「デポー39」という教室をおしえてもらい、浦安に越すと同時に、土曜、夫に子供をまかせて、通いはじめました。

当時　デポー39 は自由ヶ丘にありました。アンティーク家具にさりげなくあしらわれた花の世界観が本当におしゃれでシック、いつもうっとり。そこでドライ素材の扱い方や技術を、しっかり学び、華道とはまた別の、花を切り貼りするというクラフト感覚が身に付きました。

アトリエレモンリーフ誕生



そして新浦安にて念願の教室のスタート！2000年アトリエレモンリーフが誕生しました。といっても、ちょうど下の子も幼稚園に入学、最初はたった3人のママ友からスタートです。なんの協会にも属さなかったので、すべてはチャレンジ、体当たりです。当初は七転八倒。失敗もたくさんありました。

わからないで仕入れた花器が生徒さんの目の前で次々割れてしまったり、1から自分でプロデュースした展示会は、ひとりで何役もこなしているうちに、肝心の作品が間に合わなくなってしまったことも。生徒さんの募集も全くの素人で、地元のミニコミ誌だけが頼みの綱、花材やアイテムの新情報は自分の足でさがし、業者さんには、花材の説明からトレンドまで、しつこいくらいいろいろなこと尋ね、教えてもらう日々でした。

でも不思議なことに、いろいろなところで相談したり、教えていただきながら、試行錯誤を重ねているうちに、応援してくださる卸業者のスタッフさんや、イベントの営業マン、同業の先生方など、頼りになるネットワークがどんどん広がっていきました。

またコンテストでグランプリの賞をいただいたり、メディアや新聞に取り上げていただいたことも大きな励みとなり、今のアトリエレモンリーフに至っています。現在　登録者は700名をこえ、教室レッスンを中心にオーダー制作、テーブル装花、ウェディング、ディスプレイ、コンサート装花子供教室　本の出版まで幅広く活動させていただいています。

花から広がる世界

レッスンの他には様々なアーティストと集うアートコラボレーションの展示会主催者として毎年イベントを開催しています。クオリティの高いアーティストの作品がリーズナブルに購入できるアートコラボレーションはおかげさまで、市内で秋恒例の人気イベントに成長。毎年オープン前には楽しみにしていてくださるお客様の行列ができます。（感謝！）2017年には15回目を開催します。

近年では自宅教室運営のセミナーも開催しています。2014年には入門編の「自宅教室の開き方」を,2015年にはハンドメイドに特化した「自宅教室をはじめよう」を出版しました。拙著では子育ても家事も教室運営にはプラス！を提唱。体験をもとに、これから自宅教室を始めたい方を応援しています。各地でサロンや自宅教室運営のセミナーを展開し、現在では企業様からも講師のご依頼もいただくようになりました。

アトリエレモンリーフのパワーの源

アトリエレモンリーフのモットーはのびのび自由！当初から必要を感じなかったこともあり、～協会という傘下にはいっておらず、独自のスタイルで運営してきました。前例にとらわれることもありませんし、仕入ルートを固定されることもなく、レッスンでは協会コミッションや、更新料など一切頂いていません。ただその分、なんの後ろ盾もないので、こちらから求めなければなにも入ってきません。

仕事が思うようにいかず、時には落ち込むこともあります。でもそんな時も、私がいちばんパワーをいただけるのは、アトリエレモンリーフのテイストに共感してくださる生徒さんの存在です。「こういう感じのお花が好き！」「こんなの作りたかった！」そう言って下さるメッセージにどれだけ勇気と元気をいただいているかは計り知れません。好みが共通している仲間同士の時間は格別です♪今、読んでくださっているあなたとも、おそらく好みのテイストが似ているのではないでしょうか。だからこそ、本を手に取ってくださったのでは♪と思いますが、いかがでしょう。

共通の感性でひきあう関係は先生や生徒さんという立場もとびこえて、お花仲間のつながりを育んでくれます。仲間との創造の時間は楽しく、自宅教室はまさにわたしのホームグラウンドなのです。

現在では定期、単発、などライフスタイルにあわせて、初心者の方から、10年以上の方まで、都内、近県からさまざまな世代の方が集ってくださり、プロの生花店の方もいらしていただくようになりました。遠方の全国のみなさんとは通信講座でつながっています。毎月配信する工程画像入りのウェブレシピは、制作に時間を要しますが、お会いしてレッスンできない分、少しでもカバーになればと、ネットの効果をフル活用しています。生徒さんが送ってくださる完成写真と温かいメッセージが私の励みです。本当にありがとうございます。

アトリエレモンリーフのあらたなチャレンジはこれからも続きます。まだまだ成長過程ですが、みなさまに応援していただきながら、教えていただき、精進してまいります。

今後ともよろしくお願いします。　　アトリエレモンリーフ　影山さちこ

Atelier Lemon Leaf
http://www.lemonleaf.jp/

アトリエレモンリーフ　インスタグラム
http://www.instagram.com/lemonleaf.jp

おわりに

この世のものはすべて人の願望がカタチになったもの。ほおっておいてスカイツリーは立たないし、オリンピックも開催できません。願いの先に行動があり、だからこそ現実になる。

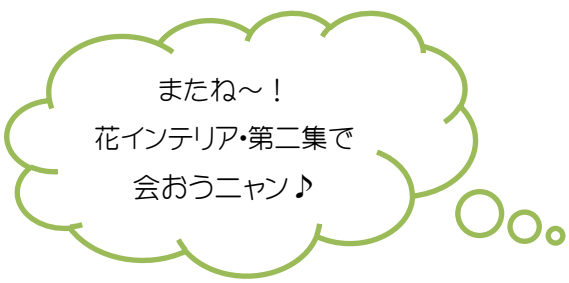
こうして書くとかっこいい話ですが、いざ自分の願いに当てはめようとすると容易なことではありません。

「いつかお花の本を出したい！たくさんの人に花の面白さを伝えたい！そのためには自費出版ではなく流通する本にしたい！」とずっと願ってきました。すでに出版されている先生方に経緯をお尋ねしたり、自力で出版社にもちこんだりもしましたが、全く思うようにいかず、努力や実績ではどうにもならない、自分の力の足りなさに、何度も落ち込むこともありました。

しかし1ミリでも前進しようとういう心意気が神様につたわったのでしょうか、おかげ様でこうして、花の本を出版することができました。水面になげた石の波動は消えていくこともあれば、そこで流れを変えることもある、大事なことは、投げなければなにも始まらない。すくなくともこの考えは間違ってはいなかったようです。

いつかこんなメッセージを書くのが夢でした！この度の出版にあたり、お世話になりました（株）メディアポートの岡島さん　快く取材にご協力くださった花材店の皆様、本当にありがとうございました。そして誌面へのアイディアやヒントを喜んで考えてくださった生徒のみなさん、ナイスな距離感で応援してくれる友達。パソコンに長時間向かっていても、温かく見守ってくれた家族に、心から感謝しております。

そしていま、読んでくださっているあなたの願いもきっと叶いますように、心から「ありがとう」とエールを送ります。



魅せる住空間になる
影山さちこの「花インテリア」　第１集

発　行　日　2017 年 3 月 15 日
著　　者　影山さちこ
撮　　影　影山さちこ
花材資材協力　（株）東京堂　横浜ディスプレイミュージアム
発　行　者　岡島正夫
発　行　所　メディアポート
http://www.media-port.co.jp
印　　刷　Amazon Print on Demand

©Sachiko Kageyama　2017 ISBN 978-4-86558-116-4
許可なく、本書の一部または全部の転載・複写を禁じます。

ATELIER LEMONLEAF